

# フェニキア・カルタゴ研究会 第6回公開報告会

*The Society for Phoenician and Punic Studies in Japan*

昨年度、一旦中止となった第6回公開報告会を以下の要領で開催いたします。  
今回は、文献史料・考古資料等を用いる歴史的側面からのアプローチのみならず、衛星画像を用いた地形や立地等の観点からの考察も含め、4つの報告を準備いたしました。  
卒業論文の発表や修士論文の中間報告など、若手の報告も含まれています。  
さまざまな方向性からフェニキア・カルタゴ研究の「今」に迫りたいと思います。  
是非、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

## プログラム

- 13:15 入室開始  
13:30 開会の辞  
13:35 ①「フェニキア・カルタゴ研究の現状と課題」 佐藤 育子（日本女子大学）  
13:55 ②「フェニキア西方進出の始まりとその背景について」 山崎 翔太（駒澤大学）  
14:15 ③「カルタゴとイベリア半島のフェニキア人植民市の関係について」 日野 貴裕（法政大学）  
14:45 休憩（15分）  
15:00 ④「シチリア島とイベリア半島におけるフェニキア植民都市の立地と形態 - 衛星データの分析を通して」 小方 登（京都大学）  
15:40 ディスカッション 司会 青木 真兵（関西大学）  
16:00 閉会

日時：2021年3月21日（日）13:30～16:00  
ZOOMによるオンライン開催



ドニャ・ブランカの遺跡（スペイン・アンダルシア地方）  
撮影：小方 登

参加をご希望の方は、3月19日（金）までに下記のフォームからお申込み下さい。3月20日（土）までに当日のリンク先など参加方法をお知らせします。

<https://forms.gle/TF8V4nqjhRF7Ef8Z6>

← カディス湾およびカディス周辺の衛星画像

主催 フェニキア・カルタゴ研究会

JSPS 科研費 16K03131（研究代表者 佐藤育子） 地中海におけるフェニキア・カルタゴ文化の発展と変容